

第2節

子どもの将来に対する期待

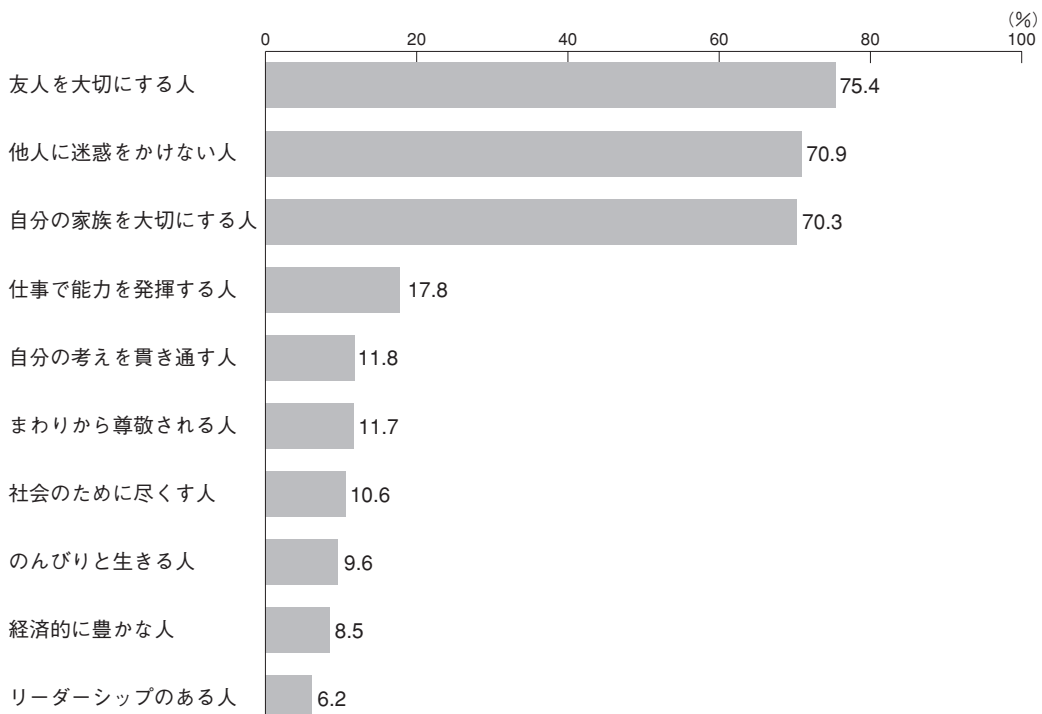
多くの母親は人とのかかわりを重視している。子どもの性別でみると、男子には社会的成功を望むのに対して、女子にはよい人間関係づくりを望む。

● 社会的成功より人とのかかわりを重視

図2-2-1は、子どもに将来どのような人になってほしいかを聞いた結果である。第1位が「友人を大切にする人」75.4%、第2位が「他人に迷惑をかけない人」70.9%、第3位が「自分の家族を大切にする人」70.3%である。10項目中、3つまで選択してもらっ

たが、左記のように、第3位まではどれも対人関係に関する項目で、母親の期待は人とのかかわりに集中していることがわかる。一方最も母親の期待度が低かったのが「リーダーシップのある人」6.2%、つづいて「経済的に豊かな人」8.5%、「のんびりと生きる人」9.6%である。「仕事で能力を発揮する人」は2割弱であり、多くの母親は社会的成功より対人関係を重視している。

■図2-2-1 子どもの将来に対する期待 (05年)



注1) 10項目の中から、3つまで選択。

注2) 母親の回答のみ分析。

注3) 0歳6か月～1歳5か月の乳幼児をもつ母親の回答を含む。

(サンプル数 2931人)

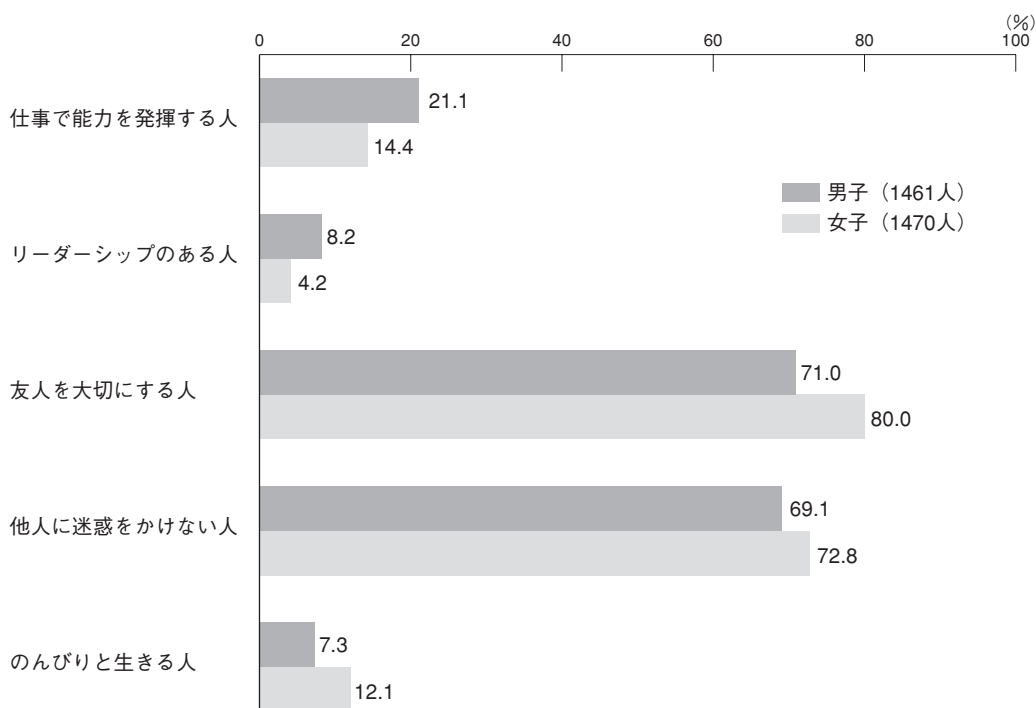
●子どもの性別・母親の就業状況による差

子どもの将来に対する母親の期待は子どもの性別によって、変わるのだろうか。図2-2-2は、子どもの性別による差がみられた項目（3ポイント以上の差）のみをピックアップし、グラフ化したものである。

女子より男子に対する期待が高かったのは「仕事で能力を発揮する人」（男子21.1%>女子14.4%、6.7ポイント差）、「リーダーシップのある人」（男子8.2%>女子4.2%、4.0ポイント差）である。一方、男子より女子に対す

る母親の期待が高かったのは「友人を大切にする人」（男子71.0%<女子80.0%、9.0ポイント差）、「のんびりと生きる人」（男子7.3%<女子12.1%、4.8ポイント差）、「他人に迷惑をかけない人」（男子69.1%<女子72.8%、3.7ポイント差）である。子どもの性別と関係なく、母親は人とかかわりを最も重視している。しかし、男子と女子を比べてみると、母親は男子により出世や社会的自己実現を望み、女子により他人と協調して心豊かに生きていくことを望んでいるようである。子どもの性の違いによって、母親の期待が若干異なっているといえる。

■図2-2-2 子どもの将来に対する期待（子どもの性別 05年）



注1) 10項目の中から、3つまで選択。

注2) 10項目中5項目を図示した。

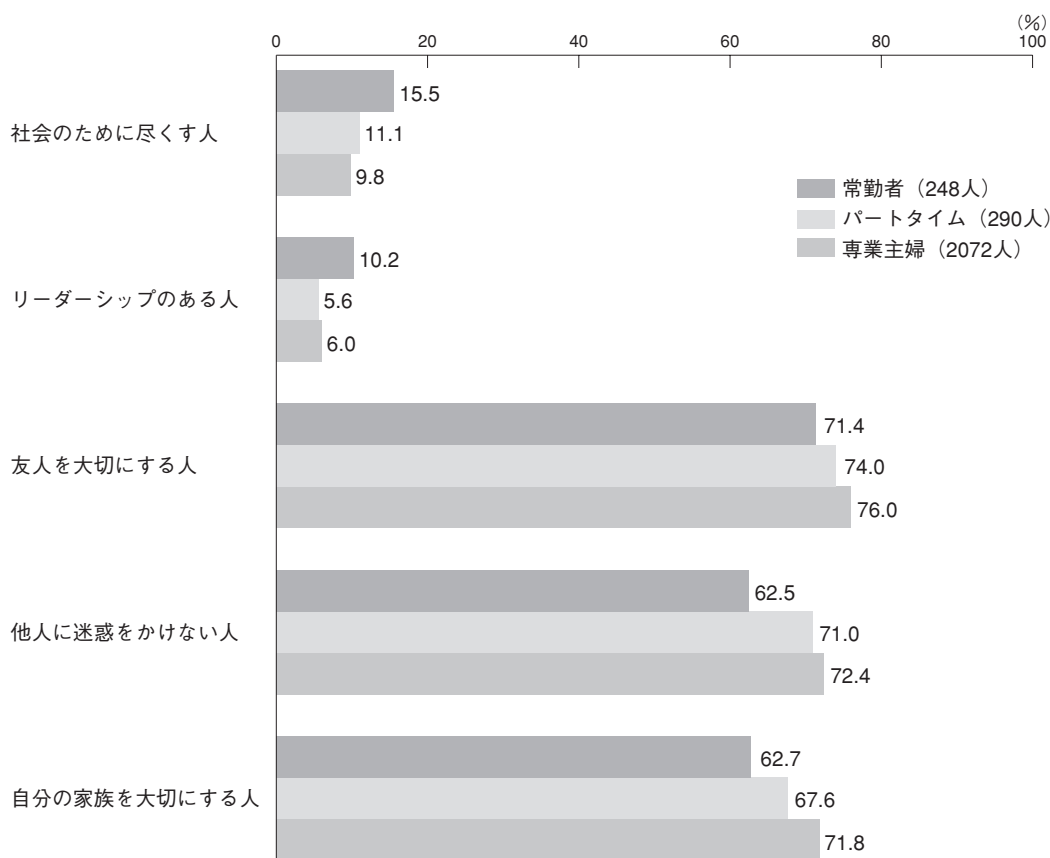
注3) 母親の回答のみ分析。

注4) 0歳6か月～1歳5か月の乳幼児をもつ母親の回答を含む。

次に、母親の就業状況別の分析を行いたい。差がみられた項目（3ポイント以上の差）のみを図2-2-3に示す。常勤者が専業主婦より回答した比率が高かったのは「社会のために尽くす人」「リーダーシップのある人」で、4～6ポイントの差がある。一方、常勤者より専業主婦のほうが回答した比率が高か

った項目は「他人に迷惑をかけない人」「自分の家族を大切にする人」「友人を大切にする人」で、4～10ポイントの差が開いている。常勤者は子どもにより社会貢献や社会との接点を望み、専業主婦は子どもにより家族との強い絆やよい人間関係づくりを望んでいる傾向がみられる。

■図2-2-3 子どもの将来に対する期待（母親の就業状況別 05年）



注1) 10項目の中から、3つまで選択。

注2) 10項目中5項目を図示した。

注3) 母親の回答のみ分析。

注4) 0歳6か月～1歳5か月の乳幼児をもつ母親の回答を含む。

注5) 母親の就業状況について「フリー（在宅ワークを含む）」「産休・育休中や休職中」「その他」および無答不明の人は図から省略した。